
2018年度 清泉女学院 教育文化研究所
国際学術交流会

イスラム文化と現代日本文化

～多文化共生のヒントを探る～

2018 11/30 (金) 15:00～16:30

清泉女学院大学 S301 会議室

発題者：アマル・レファート氏

1968年、エジプト南部の生まれの女性研究者。
カイロ大学所属 日本語日本文学科専任講師 近現代日本思想専攻。
カイロ大学人文学部卒業後、1997～2000年、信州大人文学部に留学、修士課程修了。
2005～2008年、東大宗教学科研究生を経て、カイロ大で博士号取得（近現代日本思想）。
2018年1月より同志社大客員研究員東京滞在。
現代の日本の宗教意識などについて論文執筆中。

レファート氏による30分程度の講演後、レファート氏と参加者による
意見交換・討論を1時間程度行います。（日本語）

◆ この学術交流会は学外の研究者にも開かれたものとなっていますが、
会場の都合上、参加ご希望の方は下記までお問い合わせください。 ◆

清泉百年
プロジェクト

【お問い合わせ先】 清泉女学院 教育文化研究所

E-mail : keiei-kenkyu@seisen-jc.ac.jp

メールの件名に「国際学術交流会」と明記のうえ、お名前、電話番号をご記載ください。